


 異業種共創型
1 DAY
プログラム

SDGsビジネスプログラム 【テーマ別】




SHIPとは

Japan Innovation Network (JIN) と国連開発計画 (UNDP) が共同運営する、SDGsの達成をイノベーションの機会として捉え、世界中の課題の解決を企業の技術・ノウハウで目指すオープンイノベーション・プラットフォームです。

[ホームページ>>](#)


SDGsビジネスプログラム【テーマ別】について

SDGsでとり上げられている特定の課題を解決するためのビジネスソリューションをデザインする1DAYプログラムです。ビジネスの種になりそうな課題について、国連のデータや海外のイノベーション動向を参考にしながら、他企業・他業種の参加者と一緒にワークショップ形式でビジネスモデルを作り上げていただけます。このプログラムを通じて、SDGsの達成を実現する新しいビジネス機会や、他社と連携したオープンイノベーションのきっかけを発見していただくことを目的としています。

開催日程	テーマ
1月30日 (火) 10:00~18:00	 ヘルスケアの課題をビジネスで解決する (1) 高齢者が健康に生活できる社会へ ~ イスラエルの最新イノベーション動向からヒントを得る ~ 急速な高齢化が進む日本社会。100兆円と言われる高齢者向けの市場におけるビジネスソリューションとは？
2月15日 (木) 10:00~18:00	 ヘルスケアの課題をビジネスで解決する (2) 治療から「予防」へ ~ デンマークの最新イノベーション動向からヒントを得る ~ 治療中心から予防にシフトする日本のヘルスケア。日本人の健康を増進する新たなビジネスソリューションとは？
3月13日 (火) 10:00~18:00	 持続可能なまちづくりをビジネスで実現する： まちの「ムダ」をなくす ~ オランダの最新イノベーション動向からヒントを得る ~ 空き家・空き地や食品ロスなど、まちのムダを活かし・なくすビジネスソリューションとは？

場所
31 VENTURES Clipニホンバシ
 (東京都中央区日本橋本町3丁目3-3)

**申込
方法**

以下のサイトで参加費をお支払いの上、お申し込み下さい

<http://ptix.at/npcA7v>
[お申し込みサイト>>](#)


※請求書払いをご希望の場合は、下記のSHIP事務局までご連絡下さい

参加費
おひとり 45,000円+税/回
 (各回ごとにご参加頂けます)

お問い合わせ先：SHIP事務局 (ship@ji-network.org / Tel.03-5510-7188)

主催：一般社団法人Japan Innovation Network / 国連開発計画 (UNDP) ファウンディング・パートナー：三菱総合研究所

SDGsビジネスプログラムの流れ

第1部

多様な課題を全体的に俯瞰して、ビジネスで解ける課題を絞り込む

テーマ（ヘルスケア、まちづくりなど）に関連する様々な課題が、どのような因果関係があるかを俯瞰します。さらに、課題の深堀りを行い、「ビジネスで解くべき課題」を絞り込みます。

第2部

海外動向からヒントを得て、ビジネスソリューションをデザインする

各分野の専門家からのインプットや海外のイノベーション動向の分析結果をもとに、第1部で設定した「ビジネスで解くべき課題」を解決するためのソリューションをデザインします。

第3部

ビジネスモデル化に向けてソリューションを磨き上げる

第2部でデザインしたソリューションについて、顧客への提供価値や顧客セグメント、必要なパートナー等を検討してブラッシュアップし、ビジネスモデル化を行います。

1月30日のプログラム詳細「高齢者が健康に生活できる社会へ」

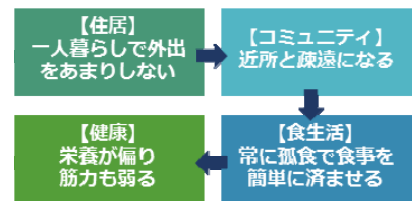
2025年には日本の高齢者は総人口の約30%になると言われ、高齢者向け市場も100兆円規模になると予想されています。

他国でも高齢化社会への対応が進むなか、とくにイスラエルは2020年に人口の12%が高齢者になると予想されることから、多くのスタートアップ企業が「高齢者が健康に生活できる社会」をめざして、「食生活」「コミュニティ」「住居」「健康」の4つの分野で、ビジネスで解ける課題を特定し、様々なビジネスソリューションを生み出しています。

1月30日のプログラムでは、世界と日本の高齢化社会に関するデータを参考にしながら、この4つの分野で日本が直面している課題の因果関係を分析し（右図）、その課題を直接的、また間接的にビジネスでどう解決できるのか、手段（下図）や想定顧客を検討しながら、**ビジネスソリューションをデザイン**していただきます。



課題の因果関係の例



【例】

課題	解決の方向性	解決手段
【住居】一人暮らしで外出をあまりしない	<ul style="list-style-type: none"> 家から出ない高齢者の健康状態を管理できないか？ 高齢者が外出を楽しめる仕組みを作れないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> センシング モバイルゲーム イベント
【コミュニティ】近所と疎遠になる	<ul style="list-style-type: none"> 一人が好きな高齢者でも孤立しない方法はないか？ 遠隔で高齢者が他者と繋がれないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> SNS 家庭用ロボット イベント
【食生活】常に孤食で食事を簡単に済ませる	<ul style="list-style-type: none"> 栄養価の高い一人分の食事を提供できないか？ 一人でも食事を楽しめる方法はないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 機能的食品 家電 フードデリバリー
【健康】栄養が偏り筋力も弱る	<ul style="list-style-type: none"> 食欲がなくても栄養を採る方法はないか？ ゲーム感覚で筋力トレーニングをできないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> サプリメント VR ウェアラブル端末

主催者



一般社団法人 Japan Innovation Network
東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー8F
www.ji-network.org

国連開発計画 (UNDP) 駐日代表事務所
東京都渋谷区神宮前5-53-70 UNハウス8F
www.jp.undp.org